

つばさ訪問リハ通信

H28. 8
V o 1. 1

つばさクリニック・つばさ訪問リハビリテーション事業所

事業所番号：1110208827

〒332-0035 埼玉県川口市西青木5丁目11-19メゾン西青木101

TEL：048-299-7886 FAX：048-299-7887

はじめに

盛夏の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。このたび当事業所の広報(Vol.1)を作成させていただきました。みなさまでご一読していただければ幸いです。ご不明な点等ございましたらご連絡ください。

NEWS！！

- 7月より**訪問リハビリテーションサービス**を開始しました！
- 医師1名、理学療法士2名（常勤1名、非常勤1名）**にてサービスを提供させていただきます。

在宅生活における利用者様・ご家族様1人ひとりの目標や願いを叶える為の一助となれるように、スタッフ一同、一生懸命頑張ります！！



PT 志賀

院長 大熊

PT 齊藤

ご相談・ご依頼お待ちしております。

私たちの活動指針

- ◆私たちは、本人様・ご家族の意向を尊重し、自立した在宅生活を送る為の“つばさ”となります。
- ◆私たちのサービスが様々な可能性をひろげ、世界に貢献できるような“つばさ”となります。

5つの約束

1. 介護度の軽減をするように努めます。
2. 常にリハビリテーション計画を見直し、心身機能・活動・参加の可能性を考えながら介入していきます。
3. 担当者会議やカンファレンスには積極的に参加し、連携に努めます。
4. インフォーマルサービスも含め、地域資源を把握し、有効に活用していきます。
5. 勉強会や学会には積極的に参加し、最先端の訪問リハビリテーションサービスを提供します。

☆☆☆これらの5つの約束を果たし**地域から頼られる事業所**となれる様に努めてまいります☆☆☆

訪問リハビリサービスの事例報告(理学療法士)

胸髄腫瘍術後に対麻痺になるも大きな改善が図れた症例
～自主トレーニングは偉大なり～

症例

67歳女性 娘家族と同居 診断名：胸髄腫瘍切除術後 介護度：要介護2

サービスに至る経緯

平成26年3月に両下肢の痺れ出現、7月脊椎血管腫瘍が見つかり、24日切除術施行。その後放射線治療を行い9月10日退院となり、訪問リハビリの依頼となる。

介入時の状態

対麻痺の後遺症にて両下肢に感覚低下と著明な筋力低下が残存している。立位保持は可能も、**屋内移動手段として車椅子レベル**となっている。

ご本人様の希望→「立てるようになりたい」

リハビリ目標

機能訓練の継続と機能アップと基本動作の向上

10月10日より、週一回 理学療法士の介入開始

訓練内容

関節可動域訓練、筋力トレーニング

座位保持・移乗・立位訓練

自主トレーニング指導

介入から現在の様子

H27.1 **歩行器での歩行自立**

H27.4 **一本杖での歩行自立。**

H27.6 **一本杖での段差昇降見守り**

H27.7 **一本杖での屋外歩行見守り**
(お孫さんとも散歩可能)



H27.4



H27.7

全てのご利用者様が劇的な回復を遂げるわけではないですが、少しでもご利用者様のためのご協力ができればと日々業務に当たっております。今後ともよろしくお願いたします。

今後の目標(ご本人様の希望)

①一本杖での歩行をより安定させ、屋外散歩等に行く。

②近所のスーパーまで歩いて買い物に行く。

まとめ

この利用者様は**どうにかして自分自身で歩きたいとの強いご希望**があり、**自主トレーニング**を積極的に行っていただけました。

そのため、週一回の訪問リハビリでも、ここまでの回復ができたのだと思います。ご利用者様の意欲を高い状態で保ち、自主性を引き出していくことも重要な私たちの役割だと考え、今後も訪問リハビリを行っていきます。

自主トレーニングについて

私たちが提案する自主トレーニングは、ご利用者様の体力、筋力のもとより、生活習慣、性格、御年齢を考慮し行っていただく内容、頻度、負荷量、種類を変えています。また疾病によっても行った方がよいもの、行わない方がよいものといったことがありますので、ご利用者様の運動についてお困りの際はご連絡頂ければと思います。よろしくお願致します。